

	12月1日現在	前月比
男	13,987	+ 9
女	14,220	+ 8
計	28,207	+17
世帯数	6,125	+13



さわやかにサイクリング大会

11月21日、町内小中学校の生徒や父兄、一般青年男女など約50名が参加し、町民サイクリング大会が開かれました。これは、青少年の健全な余暇の利用と体力の増進をはかるために、町教育委員会とサイクリング連盟の共催で開かれたものです。コースは、町公民館から小屋、弓張、大塚を通過して板敷山大覚寺を往復する全長23キロ。当日は絶好の日和とあって、みんなさわやかにサイクリングを楽しんでいました。

写真は、元気に板敷山大覚寺を下る参加者の人たち。

今月のみどころ

常備消防、来春発足で合意へ……………	2・3 P
簡易水道、戸の内地区工事すむ……………	3 P
カメラ散歩……………	4・5 P
産業文化祭・青年のつどい……………	4・5 P
写真サロン、明るい窓……………	6 P
サークル紹介、わが家の味……………	7 P
まちの伝説、やさと文芸……………	8 P

車がくるぞ、ゆっくりまとう、もう一度

芦穂小五年
村上 裕之

上記の作品は、町交通安全教師の会によって募集された交通安全標語のうち、最優秀作品に選ばれたものです。

広域行政
第三弾

常備消防、四カ町村来春発足で 合意へ！即応体制の確立めざす



町では、ことしの四月に千代田、出島、新治の三方村と協力し合い「増えるゴミ」に対処するために「ゴミ処理場」を、つづいて「老人福祉の充実」をめざして「老人福祉センター」と、広域による二つの大きな事業を完成させましたが、もう一つ問題となっている「交通事故等による救急業務の増加や火災の即応体制の確立」をはかるために、いま広域による「常備消防」の設置について、話し合いを進めています。

当町の場合、救急業務は役場職員と消防団員の方に協力をお願いし対処していますが、特に夜間の緊急出動が困難であるところへきて、救急車の出動回数も年々増えてきております。また、乗員等については、救急という本来の意味からも即応処置など、専門的知識の必要性が強く望まれております。

火災におきましては、昼間の火災の場合には、早期消火をはかるためには団員の確保がむずかしく、気象条件によっては大火をまねきかねない状況です。これらの問題を解決するためには、消防を常備化する以外にありません。しかし、常備化するにつきましても、町単独で行うことは、消防組織法や財政的にもむりがありとても不可能です。

そこで、町では、新しく常備

の消防を設置する場合には、

①市街地を含む人口三万人以上の市町村

②温泉地やベッドタウン（夜間人口が増える場合）

③広域化によって常備化を行う町村

の三つの場合に限って国の援助を受けることができますので、清掃事業においてやはり町と手を結んでいる隣接三方村と今話し合いを持ち、広域化によって国の援助を受け、消防の常備化をはかろうということになったものです。

消防団は現状通り

なお、広域消防がつくられましても消火力には限度がありまので、いまの消防団の方々に引き続いて、ご協力をお願いすることになります。広域消防発足後も消防団をなくするとい

うことはありません。いまのところ、四カ町村とも推進協議会等で、広域消防の設置についてはば合意に達しており、十二月の定例議会の議決を得しだい申請の手続きをとる予定です。

計画では、本部を千代田村に置き、ほかの三方町村には分署を設ける予定です。車両などの配備については、本部にタンク車、化学車、救急車を各一台、八郷町分署には、ポンプ車、タンク車、救急車を各一台、出島新治の各分署にタンク車、救急車をそれぞれ一台ずつ置く予定です。当初はとりあえず、本部にポンプ車とタンク車、救急車をそれぞれ一台ずつ、八郷町分署にはタンク車と救急車をそれぞれ一台、のこりの出島と新治村の各分署には救急車を一台ずつ置き、逐次整備をはかつていく方針です。

活動開始は七月に

この広域消防ができますと、火災・救急業務とも迅速な即応体制が整いますので、みなさんの要望等に十分答えることができるものと思います。

なお、いまのところ四月発足の予定ですが、職員の訓練も必要です。実際に活動できるのは七月頃になると予想されます。

上曽地区は4月中旬給水開始

所している場合は支給されません。

▽特別児童扶養手当 一級（重度障害）

イ 身体障害の程度が身体障害者手帳のおおむね一級又は二級程度のもの（内科的疾患も含む）

ロ 知能指数がおおむねIQ三五以下程度のもの又は同程度の精神障害のもの

ハ 身体障害者手帳のおおむね三級程度の身体障害と知能指数がおおむねIQ五〇以下程度の精神薄弱（又は同程度の精神障害）を重複してもっているもの（合併障害）

▽同二級（中度障害）

イ 身体障害の程度が身体障害者手帳のおおむね三級程度（下肢障害について四級の一部を含む）のもの（内科的疾患も含む）

ロ 知能指数がおおむねIQ五〇以下のもの又は同程度の精神障害のもの

ハ 身体障害者手帳のおおむね四級程度の身体障害と知能指数がおおむねIQ六〇以下程度の精神薄弱（又は同程度の精神障害）を重複してもっているもの（合併障害）

支給される手当の額は、一級の場合児童一人につき月額一八、〇〇〇円、二級の場合は、一人につき月額一二、〇〇〇円です。

くわしいことは、福祉課でおたずねください。

町産業の発展と文化の向上をめざす八郷町産業文化祭が、こども十一月二十七、二十八、二十九日の三日間にわたって開かれ、農林産物品評会や畜産共進会など各種の行事が行われました。

とくに、二十八日の日曜日には、素人のだ自慢大会



り二題
系・群のつどい

不用品バザール、酒試飲会などの催しが組まれ、たくさんの人出でにぎわいました。

今回は、写真でその一部を紹介しましょう。



〈写真説明〉 右上―農林産物品評会には、みかん、柿、しいたけなどみごとな農産物五七八点が出品されました。 右中―二十七日の開会式には町内小中学校、八郷高校のブラスバンド、県警の音楽隊がパレ



産業文化祭



ードして花をそえた。 右下―書道展には力作一八〇点が出品された。 左上―酒試飲会。 左下―こどもで二回目をむかえた素人のど自慢大会は、出場者も多く、柿岡の商店街も歩行者天国とあってたいへんな人出でにぎわいました。





青年のつどい

遅くまで熱い熱気

多彩で、会場は夜
く催し物もだいぶ
のお祭りにふさわし
会、音楽喫茶と、若人

町公民館で開かれました。
この催しはことしで三回目、青年団
後継者協議会、4日クラブ、スキークラ
ブなど、町内の各種サークルの青年男女
によって行われたものです。

カメラ散歩 まつ 産業文化

「情熱」「行動」「和」をテーマにした「青年のつどい」が、こ

としも十二月十二日に

でいっぱいでした。

とくに演劇では、南青年団が「貧しさから老人を捨てる物語のうば捨て」を熱演し、たいへん好評でした。

△写真説明△上△パザールの一コマ、もちつき。左上△音楽喫茶、小椋佳のヒット曲を演奏する田村・高久両君の歌に皆じつと聞入っていました。左下△公民館グランドで開かれた野菜の即売会風景、新鮮な野菜とあつてたいへん好評でした。



靖子ちゃん知事賞に

県民運動の標語が入選

ことしも「川をきれいにする県民運動」が繰り広げられましたが、県の標語募集に応募した朝日小学校一年生の坂入靖子さんの作品「めだかがおよぎきれいな小川」が、みごと知事賞を受け、このほど、賞状と記念品が校長先生を通し、靖子ちゃんの手渡されました。

年々、川の水も汚れ、めだかの見られる小川もだいぶ少くなりました。私たちは後代のためにも、恵まれた自然を大切に守りたいものです。



献血運動

飯田さんら十五名と

ライオンズに感謝状

このほど県保健衛生大会が水戸市県民文化センターで開かれ、町の十回以上献血に協力された方々十五名と献血事業の普及推進に協力されたライオンズクラブ（代表中島仁平）に感謝状が贈られました。

感謝状を受けた方々は次のとおりです。
▽飯田孝夫▽富田隆一▽谷島昇▽植木力松▽坂本利夫▽塩谷房次▽細谷禮太郎▽赤羽根弘一▽鈴木和子▽滝田誠次▽中村次男▽西村幸徳▽村田寛▽山中和夫▽石井洋一



二〇二世帯に感謝状

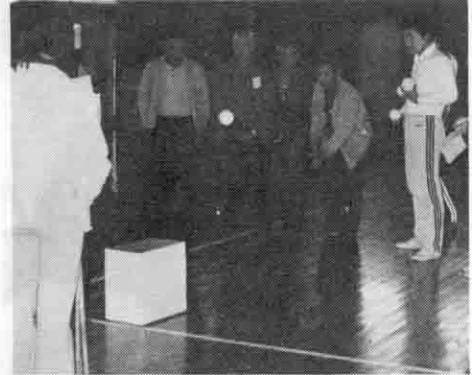
健康優良家庭

健康優良家庭の表彰式が、十一月二十五日町公民館で行われ、二〇二世帯の方々に感謝状が贈られました。表彰を受けた方々は、昨年一年間、健康で医者にかかったことのない世帯の人たちです。

身障者レクリエーション大会

開かれる

11月21日、身障者レクリエーション大会が、柿中体育館で開かれました。大会には、約40名の人たちが参加し、ビンつり競争や玉入れなどのゲームが行われました。



柔道大会開く

全国青年大会
出場を記念し

十一月二十八日、町の柔道部が県代表として全国青年大会に出場したのを記念し、記念柔道大会が柿中体育館で開かれました。



みかん園無料開放

保育所の子どもに楽しい贈り物

瓦会保育所では、このほど園外保育に「みかん狩り」を行いました。これは、同地区の鈴木正憲さんがみかん園を無料開放して下さったもので、子供たちは大喜びで大きなみかんに舌づつみを打っていました。同保育所では、ことしの夏に大場克己さんもみかん園を開放しました。



瓦会小に届く心のプレゼント

贈り主は同地区出身の二人

瓦会小学校に毎年二人の方から贈り物が届けられている。この贈り主は、同地区出身の方で東京品川区に住む真家準治さん（宇治会出身）と埼玉県大宮市の渡辺三郎さん（宇治会出身）の二人。真家さんは「子供たちに」と毎年ノート百冊を一〇年近くも贈り続けて下さっており、また渡辺さんも「子供たちに本を買ってやって下さい」と五年間も続けて、毎年現金三万円を贈つ

■ 寄 贈

て下さっているものです。先生や父兄の方から大変感謝されています。



- 芦穂小学校へ体育機具一七万六千円相当 須釜 広瀬 豊
- 小幡小学校へぞうきん五〇枚と竹ぼうき一本 小幡第三老人クラブ（代表飯田徳次）
- 小幡保育所へ天幕一張（六万円相当） 小幡 鬼沢 隆
- 社会福祉協議会へ現金一万円 上曾 大図とよ
- 瓦会小学校へ竹ぼうき三〇本 瓦会第二百寿会
- △ 酒田大火義援金 △ 酒田大火義援金品として次の方々にご協力をいただきました。ありがとうございます。
- 毛布他日用品一〇九点 八郷農協役員一同
- 現金一六、五〇四円（産業文化祭チャリティーバザール売上金） 商工会青年部

サークル 紹介

八郷スキークラブ

スキークラブができたのは、昭和四十五年の秋で、当初十二名だった会員も、現在では賛助会員を合わせると約七十名と大きなクラブに成長しました。

スキー技術の向上やスキー仲間との交流を深めるために、県のスキー連盟にも加入しており、一年を通していろいろな活動を行っています。

シーズン中の活動は、十月に



総会を行い行事や日程を決め、十二月中旬の「初滑り」から本格的な活動に入ります。

年末年始には、

より高度なスキー技術の修得をめざす仲間のために、朝早くから夕方遅くまできびしい練習を重ねる強化研修も、毎年営平で行っています。

一月から二月にかけては、オープン参加の町民スキー大会やファミリースキー教室も開いており、スキーを始めたという人にもたいへん喜ばれています。

また、夏のシーズンオフには、ソフトボールやハイキング大会も行い、日頃から体力づくりをめざして活動が続けています。

わがスキークラブは、スキー講習会やファミリースキー教室と各種の行事も活発に行っており、県スキー連盟の中でも注目を集めているクラブです。

スキーがどれほど魅力あるものであるか。あなたも一度は白銀の世界でスキーをしてみたいかがですか。その奥深い魅力にあなたも必ず取りつかれることでしょう。

八郷スキークラブは、近隣のスキークラブ、他のサ

ークルとの交流、研修会への参加などを通じて新しい仲間づくりを努めており、会員もスキーというスポーツを通じて生きることの喜びを分かち合い、会員同志の「和」の心を育てています。クラブに入会を希望する方、またはファミリースキー教室（ $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{16}$ ）、町民スキー大会（ $\frac{2}{10}$ 、 $\frac{2}{13}$ ）に参加を希望する方は、電話三局〇五〇四（市村茂雄）へご連絡下さい。

写真は、四十八年の町民スキー大会（苗場）の一幕

（市村）

⑤今回より一般サークルの紹介も逐次掲載して行きます。

健康メモ

高血圧予防 (2)

高血圧、動脈硬化につながる脳卒中で昨年町で亡くなった方は六六名あり、全死亡二三名中の二九%を占めています。年齢別には三十歳代寄り、時期別には、真冬の二月が最も多く、次いで一月、十二月、真夏の七月の順になっています。

この恐しい脳卒中の前兆は、軽い発作では「耳なり」「肩がこる」「怒りっぽくなる」「むやみに腹が立つ」「少しのことで

ピザ風トースト

柿岡 助川きよ子

発育ざかりの子供の栄養は、おやつで補わないとたりないといわれています。

有害色素とか、防腐剤とか、食品公害のさわがれているこのごろです。おやつはやっぱり手作りがよいといわれますが、おやつに時間をかけられないお母さんにも、簡単にできる我が家のおやつをご紹介します。



ピザ風トーストとしやれた名前をつけてみました。



（中火）で四分位で焼き上げます。

寒い日などにストープを囲みながら、ホイルに包んでストープの上で焼くのもよいと思います。

お年寄りにはバターをマーガリンにかえて、材料も家にあるあり合わせの物で独自の味を楽しんでみてはいかがでしょう。

- 安静第一で頭を高くする
- 氷のうで頭部の両側を冷し、ぬれタオルで頭を冷す（氷枕はやってはいけない）
- 体は毛布などで温くする（湯タンポは火傷に注意する）
- 嘔吐した時は首を横にして、吐いたものをのみ込まぬよう
- 大小便も動かないでその場所ですせる
- 倒れた時は悪い方の側を上にしておく
- あとはすべてお医者さんの指示により看護する。

（保健婦だより）

家庭での応急手当としては、しびれ、目まいなどがあつたら○医師の往診を依頼する

まちの伝説

大沼変じて良田となる

板敷山を源として高浜入りに注ぐ全長約二六キロの恋瀬川は、だいたいその半分が八郷地内を流れているが、その途中、川又東南の突端と、鬼越山のすそが相接するところに石淵（イシブチ）という地名がある。明治の末頃まではそこに川又河岸という運漕業者があつて、近在から産する薪・木・竹材等を舟に積んで高浜から銚子方面まで運んでいた。旧幕時代は、この上流の高友・片野・根小屋などの河岸と、それからすぐ下の五輪堂河岸とともに、江戸へ運ぶ貢米や、その他の物資の集荷所として、人の出入りが多かったといわれているが、現在は、物資置場の空地と、出水を待つて舟を出した河岸の跡が残っているばかりである。

大昔、ここに岩壁がそそり立っていて川の流れるところで止まり、下からのぼってくる舟もここまでであつた。神話に登場する日本武尊の東征にあつても、ここまでは舟で来られたが、ここからは舟を棄てて上陸したと

伝えられる。（尊の腰掛石もあつたというが、今は民家の大黒柱の礎石になつてゐるとか）

昔は、それから上は一面の大沼で、水のはけ口は今の県道に沿つて半田に入り、西の方月岡の山間から杉沢不動後の田んぼを流れてくる山入りの水を合わせ、それから下は信楽川となつて、四季折々の遊覧船で賑つた景色のすぐれたところであつたといわれる。

沼は、鼓ヶ峰のすそに広がり、西は川又裏から、北は前島辺におよんだ。板敷方面からの水は、浦須辺でこの沼に注ぎ、川の名を小泊瀬（こはつせ）川といつたらしい。足尾山が小泊瀬山と呼ばれたことは常陸風土記にも書かれており、この川は、その麓の辺を流れるので小泊瀬川と称へ、それがなまつて恋瀬川となつたのではあるまいか。大雨ともなると沼の水があふれて、石淵の岩壁から滝となつて落ち、実に壮观であつたといふが、いつの時代かにこの岩壁がきり開かれ



上流の水がここを通つて信楽川に流れ入り、漸次沼水がひいて、その跡が良田になつたと伝えられる。今、川又の北に平渡の字名があるが、昔、この辺から舟をだして片野方面へ渡つたところであらう。また、片野の西側に「ナガトロ」の地名がある。このナガトロは相当長い一本道なので長道路と考えられるが、紀州や秩父の長瀬と同様、水が静かに漂つてゐる意味ではあるまいか。

八郷町誌より
写真は、伝説の地「石淵」より片野方面を望む

お知らせ

聴覚障害者の方へ

手話奉仕員派遣

制度のご利用を

皆さんが役所や医療機関に行くとき、手話が通じないため大変お困りになることがあると思ひます。そのようなとき、手話奉仕員の方が皆さんと同行し、意志を伝えてくれます。手話奉仕員の派遣を希望するときは、

次のことをハガキか電話で申込んで下さい。費用は無料です。
△連絡事項△ 申込者の住所氏名年齢、派遣希望の日時、派遣先の場所、用件、待合せ場所
△連絡先△ 水戸市千波町後川、県民福祉センター内「茨城県ろうあ者福祉相談室」 電話水戸（四一）九三九二
△申込時間△ 月曜日から土曜日まで（土曜日は午前中、年末年始祭日は休み）

やまと文芸

短歌

吉田 次郎 選

迷いなく霜にふふむを羨しまん落葉隠れの石路の黄の花
大増 入江 君子
ほのぼのと霧たちこめる朝空のしじまの中を白鷺飛び
小幡 鬼沢 功
ひとり居に馴るるもわびし縁先に人の声して歳暮の届く
小倉 中島志づ 江

俳句

滝田 玉水 選

掃溜めて静かな朝に落葉焚く
東山崎 荒井 岳山
朝寒や行き交う人の歩の固し
大増 入江 君子
七五三華やぐ裳に草もみち
小倉 中島 美仙

俚謡

大木 嶺月 選

母の自慢は漬物上手塩の加減に持たす味
戸ノ内 白田 敏子
杖を頼りに老人たちも果す選挙の国造り
根小屋 島田 順風
嬉し涙で見上げる我が娘人となる日の角かくし
半田 原田 曉耕